

## 第 6 1 回 活水高等学校卒業式

県内トップを切って、2月18日(水)9:30より  
第61回活水高等学校卒業式が、行われました。

活水の歴史と伝統が刻まれた愛着ある制服(50年)  
最後の卒業式であり、旧制服の卒業の日ともなりました。



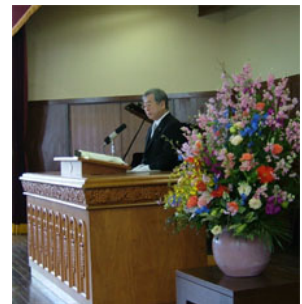
卒業式伝統の「魂<sup>たま</sup>ゆずり」では、卒業生代表の北里綾香さんから在校生代表の松尾志穂さんに手<sup>たあけ</sup>桶が手渡されました。今年のリボンの色は白色と真珠色で、



式では、神田校長が、「学校生活で培われた心の温かさ豊かさ・知性など活水レディーとしての成長を感じます。一人一人の魂に植えられた種が、すくすくと伸びていくことを願っています」との祝辞。

また、野々村学院長は、「感受性の豊かさが育てられ、同じ価値観で考えられる女性であるために、学ぶだけでなく生き方や価値観を常に探求して欲しい」と祝辞を述べられました。

卒業生を代表して杉永ひかるさんが、3年間一緒に泣き笑いしてきた友人は一生の宝物。思いやりと知性溢れる活水レディーとして活躍したい」と感謝の辞を述べました。



白色は、『純潔』  
真珠色は、『神さまの愛に守られながら、気品と希望をもって新しい活水の歴史を刻むことができますように』

を表現しています。

リボンに託されたメッセージは、在校生に十分伝わったと思います。

**卒業 おめでとう！！**